

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国際農業研究機関拠出金／国際とうもろこし・小麦改良センター(CIMMYT)			
種 別		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)／国際とうもろこし・小麦改良センター(CIMMYT)					
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省 大臣官房国際部 海外投資・協力グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 途上国農家が実施可能で、農業生産環境の変化に適応した持続的な農業栽培技術を開発するための研究開発を支援する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	21,580	196		1米ドル = 110円	100
平成26年度	11,175	115		1米ドル = 97円	100
平成25年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 CIMMYTはCGIARに属する研究機関であり、世界の食料安全保障を確保し貧困を削減するため、トウモロコシ及びコムギの生産性を持続的に向上させることを目的としている。 近年、開発途上国においては、窒素肥料の過剰な投入により、地下水汚染や温暖化ガスの排出といった問題が生じている。一方、後発開発途上国の多くでは、肥料の国際価格の高騰等により肥料の十分な利用が困難な状況にあり食料増産が阻害されている。そのため、窒素肥料の利用効率を高めることによる低環境負荷かつ低コストな農業技術の開発が求められている。 このような課題に対応するため、CIMMYTへの我が国の拠出金により、コムギ遠縁野生種が持つ生物的硝化抑制能を栽培コムギへ育種的に導入した系統を作出するための研究開発を行うことは意義が大きい。					